

申請日  
202 年 月 日

# 安全衛生・特別教育受講申請書

職業訓練法人東京土建技術研修センター殿

組合員情報と相違なく、本人であることを確認しました

支部の記入欄	支部	組合員番号	担当者確認サイン
	-		

※組合員番号が空欄の場合は本人確認書類を添付

注意

1. 正確・はっきりとした文字で書いてください

2. フリクション等消えるボールペン不可

3. 感熱紙不可

氏名自筆サインは必須

点検欄 組No. ①・②・③・④・⑤・⑥・⑦・⑧・⑨・⑩

就労証明・特定事業所 y n

日付

外・写真 印

**1. 受講者** ①～⑩ 全て記入

②ふりがな

③氏名

④生年月日 ※②～⑤は記載内容の修正・誤記訂正不可。  
西暦 年 月 日

⑤国籍 日本・外国籍 ※どちらかに○

⑥現住所 〒

⑦携帯電話 (ない方は自宅) - -

⑧職種

⑨卒業の最終学歴 中・高・短大・大

※旧姓・通称名記載希望者は、公的な確認資料を添付の上、新姓や在留カード記載の表記氏名の後に( )書きで、旧姓・通称名をふりがなを含めて、必ず記入する。

外国籍の方の添付資料  
・在留カード  
もしくは  
・特別永住者証明書

**10 就労形態** ○をつける

雇用保険加入の被保険者  
一人親方労災特別加入者  
事業主・法人役員・同居家族で雇用保険に加入していない方  
それ以外の方 (雇用保険に加入していない方)

右を記入後、2. 事業所欄へ

右を記入後、2. 事業所欄へ

雇用保険事業所番号 (東京は13で始まる、事業所の番号を記入) \*被保険者番号とは違う

講習日時点での年齢 過去5年以内に、特定の事業所があった・なかった どちらか○  
44歳以下・45歳以上

↓ あった方は経歴を記入

事業所名	職種	期間	雇用保険
		年 月 ~ 年 月	加入・加入なし
		年 月 ~ 年 月	加入・加入なし
		年 月 ~ 年 月	加入・加入なし

**2. 事業所** ①～⑥ 全て記入 \*特定の事業所がない方は、そのうちの1つを記入 \*一人親方労災特別加入者は記入不要

①ふりがな

②事業所名

③事業主氏名

④住所 〒

⑤電話

⑥常用労働者数 名

受講票を会社へ送付

下記に○をつける希望

**3. 講習** (一つのみ) 講習番号に○をつける

講習日 月 日 ~ 日

会場 技術研修センター・( ) 支部会館・( )

安全衛生教育／特別教育／建設機械など (★=事業主印必要)		
15 足場作業主任者能力向上教育	16 石綿特別教育	59 不整地運搬車特別教育(★)
17 職長・安全衛生責任者能力向上教育	21 自由研削砥石特別教育	60 ローラー運転特別教育
43 足場特別教育	22 丸のこ等取扱い作業従事者教育	小型車両系 26 整地等用(★)
49 フルハーネス特別教育	23 熱中症予防教育	建設機械 51 解体用(整地等用修了者コース)
18 酸素欠乏・硫化水素特別教育	24 丸のこ・熱中症(セット)	特別教育(3t未満) 52 整地等用+解体用セット(★)
48 ロープ高所作業特別教育	25 電動工具安全取扱い教育(セット)(★)	44 新入職者教育(セット)(★)
19 低圧電気特別教育	56 石綿・電動工具安全取扱い教育(セット)(★)	61 指導員養成講座(講習名: )
57 巻上げ機特別教育	82 伐木等の業務(チェーンソー)特別教育(★)	99
58 低圧電気+巻上機(セット)(★)	81 チェーンソー 補講(5時間)	過去に東京土建で取得した修了証を統合したい方は「修了証再交付申請書」と修了証コピーも同時に提出してください
83 保護具着用管理責任者教育	20 振動工具・刈払機取扱い作業従事者教育	
85 熱中症予防管理者教育	84 振動工具取扱い作業従事者教育	

外国籍の方が受講する場合は事業主(本人の場合は自分で)が口にしレ点でチェックをお願いします。

① 日本語での日常会話がゆっくり話さなくても理解できる

② ひらがな、カタカナは理解できる  ③ 漢字、建設の専門用語も理解できる

・全てにレ点がある場合は受講生1人で受講可。  
①②のみレ点、③にレ点が無い場合は受講生1人に対して通訳1人同伴で受講可。  
①②にレ点が無い場合、通訳同伴でも受講不可。

※チェックがあっても講師の判断で講習内容が理解できていないと判断した場合は、当日途中退会を求め、修了証を交付しません。

通訳を付けずに  通訳同伴で  
上記を承諾して受講を申し込みます 事業所名 代表者名  
(法人の場合は社判と代表者印)

パスポートサイズ(縦45×35mm) 証明写真のみ可

- ・上三分身 6か月以内
- ・裏に氏名を記入
- ・規定サイズ以上でも余白を切らない
- ・写真裏にテープを丸めて貼る

(以下の場合には再提出(撮り直し))

- ・背景同化 余白なし
- ・アプリ加工 歯が見えている
- ・スマホを使った証明写真
- ・色眼鏡、眼鏡の反射、服等で顔や輪郭が隠れる

**4. 事業主の証明** 上記の者を受講させます。

★印の講習は必要

事業主の印 (押印または氏名自署)

\*組合代表印・執行委員長名が必要な方: 非正規雇用の方、一人親方労災特別加入者、個人事業主

支部執行委員長 氏名